



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社

コード番号 9610 URL http://www.wlw.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 森 捷三

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員グローバルコーポレート本部本部長 (氏名) 渡壁 淳司 TEL 03-6381-0234

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	2,514	2.8	138	-	108	-	32	-
28年3月期第3四半期	2,446	0.3	△11	-	2	△98.3	△19	-

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 62百万円 (-%) 28年3月期第3四半期 △28百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	6.28	-
28年3月期第3四半期	△3.76	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	3,387	2,483	73.3	481.86
28年3月期	3,469	2,421	69.8	469.81

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 2,483百万円 28年3月期 2,421百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
29年3月期	-	0.00	-	-	-
29年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,450	0.1	130	△14.9	100	△34.6	20	45.6	3.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（平成29年2月14日）公表いたしました「業績予想の修正及び特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	5,154,580株	28年3月期	5,154,580株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	509株	28年3月期	509株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	5,154,071株	28年3月期3Q	5,154,071株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。経済情勢の変化等の不確定要素により実際の業績の記述の予測数値と大幅に異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績の概要は、次のとおりであります。

世界経済は、英国のEU離脱決定や、各地で発生するテロなど、不確定要素を抱えておりますが、全体としては堅調で、第36期第3四半期は、連結業績で増収を達成することができました。大型案件の獲得に成功した米国のほか、欧州も業績を拡大しています。日本は、収益性の向上が重要な課題であり、前年に続き営業赤字となりました。また景気拡大の減速で先行き不透明感があった中国も、利益面では改善しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高25億1千4百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益1億3千8百万円（前年同期は1千1百万円の営業損失）、経常利益1億8百万円（前年同期は2百万円の経常利益）となっております。また親会社株主に帰属する四半期純利益は3千2百万円（前年同期は1千9百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

②セグメントの業績は、次のとおりであります。

(イ) 国内

第3四半期に予定していた大型の受注が、お客さまの都合で延期になった一方で、これを補う新規の受注獲得ができず、予算に対して減収となりました。また経費節減に努めましたが、営業赤字になりました。

この結果、売上高9億6千8百万円（前年同期比1.3%減）、営業損失7千6百万円（前年同期は8千5百万円の営業損失）となりました。

(ロ) 北米

昨年度の顧客企業との取引拡大に力を入れたことや、新規の顧客獲得で売り上げが拡大しました。また、利益率がいいライセンス契約が増加したことで営業損益でも増益になりました。

この結果、売上高14億9千9百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益1億3百万円（前年同期比214.2%増）となりました。

(ハ) 欧州

ウィルソン・ラーニング ヨーロッパ（英国）は、前年度からの顧客との取引拡大に成功しました。新たに採用した営業スタッフも売り上げに貢献、営業利益も予算を上回るペースになっています。フランスもライセンスの更新などで増収増益となりました。

この結果、売上高3億7千1百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益7千5百万円（前年同期比210.3%増）となりました。

(ニ) 中国

中国のゆるやかな景気回復も寄与して、売り上げは前年同期をわずかながら上回りました。利益面でも経費の節減に努めた効果がでました。

この結果、売上高1億2千6百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益3百万円（前年同期は1千7百万円の営業損失）となりました。

(ホ) アジア・パシフィック

インドでは過去の顧客が復活するなど増収になりましたが、オーストラリア等では減収になりました。営業利益面でもオーストラリア等の減益をインドの増益でカバーできず、全体では減収減益になりました。

この結果、売上高1億6百万円（前年同期比13.9%減）、営業利益1千6百万円（前年同期比6.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、25億9千5百万円（前連結会計年度末は27億2千4百万円）となり、1億2千9百万円減少しました。これは、主に現金及び預金の増加1億2千6百万円がありました。受取手形及び売掛金の減少2億8千7百万円があったことによるものです。

②固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、7億9千2百万円（前連結会計年度末は7億4千4百万円）となり、4千7百万円増加しました。これは、主に建物及び構築物の減少3千7百万円がありましたが、投資有価証券の増加7千8百万円があったことによるものです。

③流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、6億8千3百万円（前連結会計年度末は8億8千7百万円）となり、2億3百万円減少しました。これは、主に未払費用の増加3千万円がありましたが、買掛金の減少1億2千1百万円、1年内償還予定の社債の減少5千1百万円、賞与引当金の減少3千3百万円があったことによるものです。

④固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、2億2千万円（前連結会計年度末は1億6千1百万円）となり、5千9百万円増加しました。これは、主に長期借入金の増加6千7百万円があったことによるものです。

⑤純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、24億8千3百万円（前連結会計年度末は24億2千1百万円）となり、6千2百万円増加しました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加3千2百万円、為替換算調整勘定の増加3千2百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業種動向等を踏まえ、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成29年2月14日）公表いたしました「業績予想の修正及び特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当該会計方針の変更による影響額はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,735,753	1,862,052
受取手形及び売掛金	872,811	584,939
たな卸資産	21,413	43,034
繰延税金資産	47,325	47,325
その他	72,391	75,257
貸倒引当金	△24,940	△17,263
流動資産合計	2,724,753	2,595,344
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	73,745	36,026
工具、器具及び備品 (純額)	14,477	20,653
土地	41,194	41,194
リース資産 (純額)	5,007	—
有形固定資産合計	134,423	97,874
無形固定資産		
ソフトウェア	4,262	2,026
教材用コンテンツ	—	19,045
その他	567	567
無形固定資産合計	4,829	21,638
投資その他の資産		
投資有価証券	87,222	165,300
敷金及び保証金	97,118	98,383
長期貸付金	20,214	19,844
退職給付に係る資産	77,735	80,560
繰延税金資産	324,989	306,181
その他	34,256	26,037
貸倒引当金	△35,861	△23,756
投資その他の資産合計	605,673	672,551
固定資産合計	744,925	792,065
資産合計	3,469,678	3,387,409

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	257,694	135,876
短期借入金	100,000	100,000
1年内償還予定の社債	51,000	—
1年内返済予定の長期借入金	34,040	39,870
未払金	9,048	18,839
未払消費税等	47,008	21,121
リース債務	2,683	1,926
未払法人税等	16,696	2,717
賞与引当金	74,251	41,105
役員賞与引当金	21,409	6,587
資産除去債務	—	833
繰延税金負債	784	—
未払費用	150,568	180,614
前受金	107,560	118,161
その他	14,486	15,624
流動負債合計	887,227	683,278
固定負債		
長期借入金	51,750	119,280
リース債務	2,832	1,466
繰延税金負債	35,689	33,294
退職給付に係る負債	4,486	4,770
資産除去債務	50,443	48,900
その他	15,808	12,869
固定負債合計	161,008	220,581
負債合計	1,048,235	903,859
純資産の部		
株主資本		
資本金	722,698	722,698
資本剰余金	557,452	557,452
利益剰余金	862,536	894,895
自己株式	△205	△205
株主資本合計	2,142,481	2,174,841
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,035	1,718
為替換算調整勘定	274,927	306,990
その他の包括利益累計額合計	278,962	308,708
純資産合計	2,421,443	2,483,549
負債純資産合計	3,469,678	3,387,409

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	2,446,754	2,514,543
売上原価	758,027	718,487
売上総利益	1,688,727	1,796,056
販売費及び一般管理費	1,700,361	1,657,774
営業利益又は営業損失(△)	△11,634	138,281
営業外収益		
受取利息	2,574	2,200
受取配当金	1,000	1,000
貸倒引当金戻入額	5,119	9,525
賃貸料収入	1,206	994
投資事業組合運用益	17,647	567
雑収入	1,170	684
営業外収益合計	28,716	14,973
営業外費用		
支払利息	3,677	2,127
為替差損	6,423	36,275
持分法による投資損失	398	305
賃貸収入原価	1,206	994
雑損失	3,173	4,702
営業外費用合計	14,877	44,405
経常利益	2,205	108,849
特別利益		
受取和解金	—	3,571
その他	—	186
特別利益合計	—	3,758
特別損失		
減損損失	—	37,021
特別損失合計	—	37,021
税金等調整前四半期純利益	2,205	75,585
法人税、住民税及び事業税	6,585	13,864
法人税等還付税額	△376	—
法人税等調整額	15,350	29,358
法人税等合計	21,559	43,222
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△19,354	32,363
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△19,354	32,363

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△19,354	32,363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,932	△2,316
為替換算調整勘定	△2,643	32,063
その他の包括利益合計	△9,575	29,746
四半期包括利益	△28,929	62,109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△28,929	62,109

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。